



恕の心



令和4年9月26日 校長 廣瀬 真樹

小松市中学校新人体育大会



先週、新人大会に向けて壮行会が行われました。壮行会も以前は応援団による手拍子や学校全員で円陣を組んで行っていたのですが、今は感染症対策を行い、短縮した形で行っています。それでも吹奏楽部の曲に乗せてと入場した選手団は、実に堂々と、立派な態度で決意表明を行っていました。

その時に話をさせていただきましたが、私が感心したのは待っている時の雰囲気作りです。何も言わなくても場を感じ、空気を読み、静粛な雰囲気作りを3年生を中心に作っていました。「静かにしてください」というアナウンスをしなくても全校生徒が感じとって場を作れる丸中生の力を感じた瞬間でした。

もう一つ、選手に向けて話をさせていただいたのは「準備」についてです。本番当日、どんな試合をするのか、どんなレースをするのか、それまでの準備が決めるのだと思います。またどんな気持ちで臨めばよいのか、それをしっかり想像し、準備している人はじたばたせず、落ち着いて本番を迎えることができるのだと思います。普段練習を積み重ねていない人がいきなり打席でホームランは打てないし、誠実に取り組んでない人がいきなりばんばんシュートが入ることもありません。

「奇跡が起こるかもしれないじゃん」という人がいます……

私は運命の神様は普段の頑張りを必ず見ているし、いい加減な取り組みの人や、わがままな人、好きなことだけしか頑張らない人には味方にはなってくれないのだと思います。

丸中生の健闘を心から願っています。Fight！

成功の反対は・・・？

苦しい時、そこから逃れようとして、もがけばもがくほど、うまく行かないことがあります。苦しさや問題は、逃げれば逃げるほど、追いかけてくるようです。失敗するたびに、「説教」「注意」「批判」を受けて育った人や「無理」「できない」「難しい」という否定語に囲まれて育った人も多いことでしょう。しかし…

成功の反対は失敗ではない。本当の失敗とは「何もしないこと」

多くの心無い言葉は、「何もしなかった人」から発せられるのばかりです。何回失敗しようと、あきらめずに「一步を踏み出す人」でありたいですね。

アンパンマンの中に「アンパンマンたいそう」という曲があります。その歌詞の最初にこんな歌詞があります

『もし自信を無くして くじけそうになったら ○○○○○○ ○○○○○○(繰り返し) 思い出せ』

さて○○○○○○には何が入るでしょうか・・・答えは・・・「いいことだけ」です。

誰もすべてのことが思い通りに順調に進むなんてことはありません。時には上手くいかなかったり失敗したり、へこんだりするものです。でもそんな時こそ自分を信じ、周りを見て助け合いながら、あきらめず、前向きに、自分のペースでいいから、一步踏み出していくことが大切なのだと思います。 全校通心より



校長コラム

気にしているものは・・・

「人の目」を気にしないで好きなように振る舞えたら・・・。人がどう思うかを気にしないで好きな服をきて、好きなスタイルで、好きなように生きられたらどれほど自由で開放的か。そう思っているのに、やはりどうしても人の目を気にしてしまうのが人である。

でもそう思っている人は、ほとんどの場合実は「自分の目」を気にしているのだ。案外人はそうは思わないかもしれないし、それ以前にあなたのことに関心である可能性の方が高い。人からこう思われたらどうしようと思っているのは自分なんだから、自分の目を気にしているのだ。「自分の目を気にしない」って視点を変えてみたらちょっと変わるかも。



(喜多川 泰 ブログより)